



訴える（右から）加藤、かとう、浅賀の各氏=10月2日、藤沢市

藤沢市で「百年と希望」上映 加藤県議候補らトーク

日本共産党湘南地区委員会は10月2日、党創立100周年を記念して、藤沢市内で映画「百年と希望」上

映と、トークセッションを行いました。

トークセッションには、7月の参院選で神奈川選挙区候補として奮闘した浅賀由香氏と加藤なを子県議候補（前職）、かとうあや（

人）が参院選を行つたらまた一步前進する」「あやのさ

んは自分と同じように子育てを大切にしてを決意した。来年の統一地方選挙に挑みながら立候補を決意した。

藤沢市議候補が登壇。みむら耕太郎藤沢市議の司会で、映画の感想や党との出会い、参院選や今後の活動などについて語り合いました。

浅賀氏は「なを子さんは、どんな妨害があつてもみんなの実態を話せる人。このかとう氏は「子どもまで『自己責任』を言うことに驚き。みんなが窮屈な思い

た。加藤氏は「県議会は選択的夫婦別姓や性教育など、人権を守る当たり前のこと

に後ろ向き。力を合わせ、民主的に変えたい」と述べ、かとう氏は「子どもまでとのない入党の話しなど良かった」などの感想が寄せられました。

日本共産党湘南地区委員会は10月2日、党創立100周年を記念して、藤沢市内で映画「百年と希望」上映と、トークセッションを行いました。

浅賀氏は「なを子さんは、どんな妨害があつてもみんなの実態を話せる人。このかとう氏は「子どもまで『自己責任』を言うことに

人権を守る当たり前のこと

に後ろ向き。力を合わせ、や個性が出ていて楽しいひと時でした。普段聞いたこ

ととのない入党の話しなど良かった」などの感想が寄せられました。